

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1377 2016年10月16日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は **10月20日(木)**です

午後4時～6時まで

教育民生常任委員会行政視察の報告

視察日：7月25日(月)～26日(火)

視察者：高山和義議員

7月25日(月)～26日(火)の日程で、平塚市議会教育民生常任委員会として愛知県名古屋市と兵庫県姫路市に行政視察を行いました。この視察では、子どもたちの放課後の居場所づくりの先進例と小中一貫教育の実践例を学び、平塚市の政策に生かせるものは何かを考えることを目的としています。少し遅くなりましたが、9月議会で報告したものを抜粋してそれぞれの視察内容と所見を報告します。

【愛知県名古屋市】

○「トワイライトスクール」「トワイライトルーム」の取り組みについて

視察目的の「トワイライトスクール」は、平成9年から約20年間に渡って実施され、小学校施設を活用した放課後児童施策として全262校の内、226校で1年生から6年生までを対象に実施されている。保険料として年間300円で登録(活動によって材料費として実費負担あり)し、全小学生11万人の内、約5万2千人が登録をしているとのこと。1年生～3年生がほとんどの話があった。その日に誰が何人来るかはその時にならないと分からないとのこと。活動時間は、月～金の授業終了後～18時までと、土・長期休業の9時～18時までとなっている。運営スタッフは運営指導員1名、地域協力員を児童数に応じて配置されている。



また、「トワイライトルーム」は、平成25年から実施され、トワイライトスクールと保護者留守家庭児童等に配慮した支援を一体的に実施する事業として36校で実施。基本時間帯(事業終了～17時)は無料だが、18時までの登録は月1,500円、19時までの登録では月6,500円が保護者負担とのこと。より生活に配慮した取り組みを行うとして、運営スタッフに子ども指導員2名が追加配置されているとのことだった。

財政負担は、ライトスクールは1校800万円(8割市負担)、トワイライトルームは



1校1,600万円(6割市負担)の補助で、全体で23億8,400万円(内、市負担分17億9,200万円)の財政負担をしている。

留守家庭児童育成会(=放課後児童クラブに該当)は民設民営として市内全体で167ヶ所約5,000人が登録されている。

視察した所感としては、さすがに大都市の施策としてスケールの大きさを感じた。この施策を横展開することはなかなか困難と思うが、参考にすべき点は、全て学校施設を活用している点。慣れ親しんだ学校の中で活動できることが、子どもたち安心と安全を保障するのに大きな役割を果たしていることは明らか。平塚市も放課後児童クラブなど子どもたちが放課後生活をする場を、全ての小学校で、慣れ親しんだ学校内に設置することを、まず実現すべきであると強く感じました。



【兵庫県姫路市】

○小中一貫教育について

視察説明の中で特に感じた点は、姫路市の小中一貫教育が、約20年間の実践の中で作られてきたことを強調されていた点。**①子どもの心身の発達加速化と現行の学校制度がうまくかみ合っていないので**

はないか②小学校から中学校へ、子どもの成長は連続しているのに、教える側の意識はうまく繋がっていないのではないかと

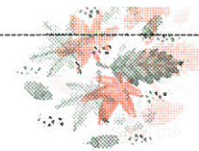
いう現状分析のもと、学校種間の接続を円滑にし、入学時の不安や心理的段差の解消を図り、学力の向上と人間関係の育成を目指すとして小中一貫教育を導入したとの説明があった。当初は、小中一貫なのか、小中連携なのかという議論はあったとのことだが、全て含めて小中一貫として推進するとしたとのことだった。

35校の中学校単位でブロックを推進している。姫路市内には、山間部から島しょ部まで、市街地、工業地域、商業地域、山村地域等様々な地域があり、1中学校1小学校、1中学校複数小学校、など35ブロックに35通りの実態があるとのこと、複数校のブロックではなかなか同じような成果は実現できていないとの話もあった。

また、特徴的だったのは、美術や音楽など専門性の高い教科で、中学校教員が小学校の授業を受け持つなど小・中の垣根を越えた教員の授業交流が進められているとのことだった。大変興味深い取り組みであるとともに、教員の負担増大にならないのが危惧される場所である。

推進に当たっては、小学校の統廃合や分割もおこなってきたとのこと、地域に対する丁寧な説明と理解が大変重要。地域の理解が得られて初めて地域の伝統や文化、人の連携ができてくる。

平塚市では、1中学校複数小学校が中心となっている。20年間実践してきた姫路市の実態を見ても簡単ではないことがわかる。小中一貫教育によって、何を指すのか、具体的な指標設定を何にするのか、現状をどう捉え問題点を明確にすることが何よりも重要だと感じました。



平塚市議会9月定例会の議案・請願に対する各会派の賛否および審議結果

一部省略

市長提出議案の審議結果

※会派人数は議長を除く人数で掲載のため合計数は27名(議員定数28名)

議案に対して ○;賛成 ×;反対 退;退席

議案等番号	議案名	日本共産党平塚市議会議員団 (3人)	清風クラブ (8人)	湘南フォーラム (4人)	公明ひらつか (5人)	平塚創生会 (4人)	無所属A(1人)	無所属B(1人)	無所属C(1人)	結果
議案第61号	平塚市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例 ※農業委員が選挙から議会承認後に市長の任命と変更されています。今回、31人の農業委員が、農業委員14名・農地最適化推進委員17名に分割され小規模生産者から大規模経営への転換が強まる可能性が増大。	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	平塚市農業委員会の選挙による委員定数条例及び平塚市農業委員会の部会の委員定数条例を廃止する条例 ※議案第61号と連動	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号	平塚市子ども・子育て基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号	平塚市幼保連携型認定こども園設置条例 ※公立の幼保連携型認定子ども園として港こども園が平成29年4月開園予定となります。つどいの広場や放課後児童クラブも併設予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号	平塚市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例 ※個人番号カードを活用して、住民票等6証明書をコンビニで発行できるようにする。紛失や漏えいの機会が拡大される。	×	○	○	○	○	×	×	○	可決
議案第65号	平塚市付属機関設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	平塚市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	平塚市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例 ※保護者会が指定管理となる3学童の管理者を市長とし、運営を保護者会指定管理として負担軽減を図ります。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	平塚市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	平塚市火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第84号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	平成28年度平塚市一般会計補正予算 補正額; 501,721千円増 年度累計額; 82,783,406千円	×	○	○	○	○	×	×	○	可決
議案第75号 ~80号	平成28年度平塚市競輪事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、水産物地方卸売市場事業特別会計、病院事業会計の各補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願及び議員提出議案(意見書含む)の審議結果について

9月定例会には請願の提出はありませんでした。